

「異文化間相互理解と不寛容除去」

特別セミナー開催案内

～ 摂南大学法学部・法学研究科及び 「地域と結びついた『異文化間相互理解と不寛容除去』の研究」 プロジェクト 共催 ～

世界は今、おびただしい難民・移民が海上で命を落とし、地上では閉鎖された国境付近をさまようという悲惨な状況を目のあたりにしています。イギリスのEU離脱に典型的にみられるように難民・移民を含む人の大規模な移動は、各国の政治・経済・社会、そして人権に対しても重大な影響をもたらしています。日本国内でも従来から外国人労働者に対する差別的取り扱いや特定の人々に対する排他的な行動、ヘイト・スピーチなどが問題になってきました。

これらの問題の根底には、異文化に対する不理解と不寛容、さらに言えば個々人の人権を尊重する姿勢の欠如が存在するように思われます。共に人権を尊重しながら生きることができる多様性のある市民社会の形成が日本においても緊急の課題となっているのではないかと考えます。

こうした認識のもとに、本セミナーでは、「異文化間相互理解と不寛容除去」という大きなテーマで、法務省人権擁護局という政府機関の視点から、そして民間の研究者の視点からそれぞれ以下のテーマで報告をいただき、議論を深めたいと考えています。

学部・学科を問わず、教職員ならびに院生・学生の皆様のご参加をお待ちしております。

◆開催日時: 2017年8月8日(火) 14時00分～16時30分

◆会場: 図書館第1グループ閲覧室 (10号館3階)

◆プログラム:

14:00~14:10	開会挨拶 小山 昇 (本学法学部長・教授)
14:10~15:00	渡部 吉俊 氏 (法務省人権擁護局人権啓発課法務専門官) 「外国人の人権に関する法務省の人権擁護機関の取組」
15:00~15:50	安藤 由香里 氏 (大阪大学国際公共政策研究科特任講師) 「欧州評議会の多文化共生やイノベーションの取組」
15:50~16:20	全体討議・意見交換
16:20~16:30	閉会挨拶 八木 紀一郎 (本学学長)

注)各報告者の時間には質疑応答が含まれます。

【本件問合せ先: 法学部: 糟谷 kasutani@law.setsunan.ac.jp】